市立札幌藻岩高等学校　第46期2学年　英語表現Ⅱ　授業構想

目標

１年間の到達目標

(1)中学校・高校１年時までの既習言語材料を踏まえ、場面に応じた形式・方法で英語をアウトプットするスキルを身につける。

(2)アウトプットの土台となる文法・語法の型を身につけるとともに、英語の音声や表現に慣れ、自分でも使う姿勢を身につける。

教材

教科書(継続使用)

〇EMPOWER ENGLISH EXPRESSION I MASTERY COURSE(桐原書店)

副教材(継続使用)

〇教科書付属ワークブック(桐原書店)

〇総合英語FACTBOOKこれからの英文法(桐原書店)

教科書(新規購入)

〇EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II MASTERY COURSE(桐原書店)

副教材(新規購入)

〇スクランブル英文法・語法4th Edition(旺文社)

〇deep listening 2(日本英語検定協会)

その他使用教材

〇GTEC 4技能アセスメント版 Advanced (ベネッセ)

〇スタディサプリ(リクルート)

〇スタディサプリEnglish(リクルート)

〇自作ハンドアウト

指導

帯活動

①Scramble英文法・語法

〇毎週最初の英表Ⅱで小テストを実施し、点数を評価に加味する。

〇不合格者は追試を受ける。追試でも不合格の場合は、課題提出をする。

②Deep Listening Level 2

〇英表Ⅱの時間に使用し、英語の音声に慣れるトレーニングを行う。

〇授業で使用する教材とし、定期考査でも出題する。

教科書の進度

・教科書(EEI、1年時の教科書)→比較(2)、関係詞(1)(2)(3)、仮定法(1)(2)を終える。従来どおりのハンドアウト構成で扱う。

・新しい教科書は、以下の手順でLesson 1から順次進めていくこととするが、適宜Speakingの内容を盛り込む。

文法・語法の確認とトレーニング

1. 予習(自学自習)

(1)教科書モデル文(Focus)

・文法書の該当ページに目を通して、文の仕組みの概要をつかむ。

・予習ハンドアウトの空欄を穴埋めする。blankになる箇所は、文法説明の日本語箇所や語句の意味が中心。

(2)演習問題(Practice 1/2)

・自力で問題を解いてくる。

2. 予習の確認

(1)予習状況の確認

・教員が机間巡視して生徒の取組状況を確認する。

(2)答えの確認

・空欄の確認をしながらFocusの英文について簡単に説明する。

・Practiceの答えは確認のみとし、仔細な説明を避ける。

英語を使った言語活動

3. Passage Writing

(1)教科書モデル文(Target)の内容理解

①教科書Target文のTrue/Falseに答える。

②Reading aloud(全訳は教科書巻末に載っている)

・Phrase Reading(日→英、英→英)…スラッシュを入れる/入れない条件でのsense groupを意識した英文理解

・Quick Response(日→英)…口頭による瞬間英作文

・Read & Look up(意味と発音を意識した口頭練習)

(2)英作文(Practice 3)

・学んだ事柄を踏まえて、ペア/グループで答えを導き出す。

・代表者が黒板に答えを書き、添削しながら解答を確認する。

(3)Your Turn

・ペアになり、英語でトピックについて意見交換をする

・話したことを踏まえて、トピックに関連するpassageを書く(全レッスンでは行わない)。

・教科書にあるsettingが不適切な場合は、自作の教材等に差し替えて行う。

授業外活動

①EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ワークブック

〇英表Ⅱの授業でレッスンの区切りがついた際に生徒に課す。

〇提出状況を評価に加味する。

②スタディサプリ(動画+宿題配信)

〇教科書等で関連する文法項目を扱った後、宿題として一定量のドリルを配信する。

〇進捗状況を確認し、未提出者に学習を促す。

評価

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価の観点	□英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 □ペアワーク・グループワークでクラスメートと協力して英語を使っている。 □間違いを恐れずに英語を使い、間違いから学ぶ姿勢がある。	□英文を書く・話す目的を明確にして、適切な表現をしている。 □１つのテーマについての内容を、聞き手・読み手に伝わるように表現している。 □学んだ表現や英語の論理構造を踏まえて表現をしている。	(この授業では評価の対象ではありませんが、聞いたこと・読んだことを踏まえて書いたり話したりする機会があります。)	□単語や文の発音・リズム、英単語・熟語・文法、語順、文の役割、 便利な会話表現、スピーチやプレゼンテーションの際によく使われる定型表現、4つの技能を活用するためのポイント、 日常的に英語を使う人たちの考え方などについて理解し、 知識がある。
評価の方法	□授業中の活動への参加態度の観察(主体性・協調性) □ワークシート・課題等への記入・提出状況(継続性) □自己評価活動への取組状況(学びに向かう姿勢)	□[Speaking]実技テスト(グループ発表等) □[Writing]essay writing提出、定期テストでの英作文問題 □[表現活動全体]授業中の話す・書く活動		□小テスト、定期考査内での文法・語法・語彙問題 □[Writing]essay wriringでの英文を書くためのルールや文法・語法が守られているか □[Speaking]英語の音に関する知識、あいずちやつなぎ言葉の知識の有無の確認